

令和4年度第3回市民が主役のまちづくり事業支援委員会会議録

1. 開催日 令和5年2月18日(土)
2. 時間 午前9時30分から午前11時30分
3. 開催場所 君津市保健福祉センターふれあい館 1階集団指導室
4. 議題 (1) 令和5年度1次募集書類審査の結果について
(2) 令和5年度1次募集申請事業(4団体)の公開プレゼンテーションについて
(3) 令和5年度1次募集申請事業の採択協議について
5. 公開又は非公開の別
(1) (2)については、公開。(3)については委員の自由な討論が制限されると認められるため非公開(君津市審議会等の会議の公開に関する規則第4条第1項第2号)。
6. 出席委員 11名
榎本 光男 茅野 雅義 佐藤 ますみ 嶋野 淳
四宮 美智江 鈴木 節子 鈴木 富雄 永井 直樹
新田 力男 伯ヶ部 喜久男 藤川 英生
7. 欠席委員 1名
座間 信子
8. 出席職員 8名
市民生活部長 茂田 達也
市民生活部次長 丸 博幸
市民活動支援課長 野村 出
市民活動支援課副課長 安部 あや子
市民活動支援係長 三木 有香子
市民活動支援係主事 近藤 佑樹
市民活動支援係主事 前田 真帆
市民活動支援係主事 立花 明日翔
9. 傍聴者 なし

開会(午前9時30分)

- 野村課長 委員の皆さま、おはようございます。
本日はご多用のところ、ご出席を頂き、誠にありがとうございます。
開会にあたりまして、榎本委員長からご挨拶をいただきたいと思
います。
- 榎本委員長 — 委員長挨拶 —
- 野村課長 ありがとうございます。
それでは、委員会設置要綱第5条第1項により、榎本委員長に進行
をお願いいたします。
- 榎本委員長 それでは、議事に入ります。
本日の出席委員は11名でございます。よって、定足数に達しており
ますので、これより令和4年度第3回市民が主役のまちづくり事業支
援委員会を開会します。
なお、座間委員は所用により、本日、欠席となっておりますのでご
報告いたします。
本委員会は、君津市審議会等の会議の公開に関する規則に基づき公
開されておりますが、本日の傍聴はありません。
また、本委員会の会議録は、後日、市のホームページで公開されま
すので、ご了承願います。

議題1「令和5年度1次募集書類審査の結果について」

- 榎本委員長 はじめに、議題1「令和5年度1次募集書類審査の結果について」
事務局からの説明を求めます。
- 事務局 まず、ピンク色のファイル、審査会資料のインデックスの4番目に
綴じてあります、「事業一覧」をご覧ください。1次募集で申込のあつ
た事業のうち、事業番号1から3については、書類審査とさせていただ
いております。
書類審査については、令和3年度第3回の支援委員会にて、地域ボ
ランティアは、長期的に取り組む事業が多く、また、事業内容につい
ても、大幅な変更が生じない事業が大半を占めることから、地域ボラ
ンティア3年目以降の事業については、原則として、プレゼンテー
ション審査は行わず、書類審査とすることと決定しておりますので、
それ以降は、今回も含めて、書類審査とさせていただきます。
地域ボランティア以外の区分の事業については、年度によって事業
内容が変わる場合があり、それにより、補助金額の増減等も考えられ

るため、引き続きプレゼンテーション審査を行わせていただきます。

それでは、先般、書類にて審査いただきました、3 団体の書類審査の結果についてご報告いたします。

事業番号 1 番 事業名「地域内道路環境の美化推進事業」、事業番号 2 番 事業名「宮下川環境美化推進事業」、事業番号 3 番 事業名「小櫃のふるさと環境整備」については、3 事業全て、賛成多数により、採択すべきものとして決定をいたしました。

最終的な採否については、この結果をもとに、市長が決定いたします。

以上で、報告を終わります。

榎本委員長

それでは、事務局の説明のとおり、決定をさせていただきますので、お願いいたします。

議題 2 「令和 5 年度 1 次募集申請事業の公開プレゼンテーションについて」

榎本委員長

次に、議題 2 「令和 5 年度 1 次募集申請事業の公開プレゼンテーションについて」議題 3 「令和 5 年度 1 次募集申請事業の採択協議について」事務局からの説明を求めます。

事務局

それでは、議題 2 「令和 5 年度 1 次募集申請事業の公開プレゼンテーションについて」議題 3 「令和 5 年度 1 次募集申請事業の採択協議について」ご説明をさせていただきます。

まず、本日のスケジュールからご説明いたします。

審査会資料のインデックスの 2 番目に綴じてあります、「スケジュール」をご覧ください。

本日のプレゼンテーションは 4 件です。9 時 50 分からプレゼンテーションを開始し、終了時刻は 11 時 55 分を予定しております。

次に審査方法についてご説明いたします。

インデックスの 3 番目に綴じてあります、「審査要領」をご覧ください。

審査は、応募書類と団体によるプレゼンテーションをもとに行います。発表時間は、1 団体につきプレゼンテーション 5 分、質問時間 10 分の計 15 分といたします。プレゼンテーション開始から、5 分でアラームを鳴らします。終了の目安としていただければと思います。審査にあたっては、別綴りの事前審査結果一覧表をご覧ください。1 枚めくっていただきますと、事業番号順に事前審査表がございます。1 ページ目が要件審査となっております。2 ページ目が事業内容の審査となっております。事業内容の審査に記載されている審査項目を

主なポイントとして評価していただきたいと思いますので、プレゼンテーションを受ける際には、審査項目に留意しながらお聞きいただければと思います。5 ページ以降は事業番号順に同様の審査表となっております。

なお、この事前審査表には、事務局の予備審査による点数等が記載されております。こちらは、要件審査欄の○×を含めて、事務局採点の平均値であって、たたき台としてお示しするものであります。各団体側には点数を伝えておりませんので、その点、ご留意いただければと思います。

次に、事業ごとに1枚ずつ送付してありますA3の「市民が主役のまちづくり事業審査票」をご覧ください。

委員の皆さまには、各団体のプレゼンテーション終了ごとに、評価できる点や不十分な点、採択にあたって条件を付けるべき点などについて協議していただき、団体のプレゼンテーション・事務局の事前評価・委員の皆さまの協議でのご意見を踏まえた上で、事業審査票の委員評価の欄に点数を記入していただきます。

また、採点点数が高かった項目、低い項目を中心にその理由について、記入をお願いいたします。

記入が終了しましたら、審査票は回収させていただきます。

全団体のプレゼンテーション終了後、委員長から採否についてご報告をいただきます。なお、出席委員の過半数が基準点以上を付けた事業について採択すべきものとして、決定いたします。

最終的な採否については、本日の審査会の結果をもとに、市長が決定いたします。

以上で、説明を終わります。

榎本委員長

事務局の説明についてご質問などがありましたらお願いいたします。

(発言するものなし)

榎本委員長

それでは、発表団体の準備が整い次第、プレゼンテーション審査を開始いたします。

事業番号 4

事業名 かずさっ子の居場所づくり

団体名 かずさっ子クラブ

プレゼンテーション

榎本委員長 事業番号 4 番、事業名「かずさっ子の居場所づくり」のプレゼンテーションを開始いたします。

発表時間は 5 分、質疑応答が 10 分となります。

団体名および発表者の紹介をしてから、事業の説明をお願いします。

団体 — 資料にて説明 —

質疑応答

榎本委員長 ありがとうございます。

それでは質疑に入りたいと思います。

ボランティアは今、何人ですか。

団体 13 人いて、月に 1 回しか出られない方とか、月に 2 回だけだよとか、そういうふうな形です。ぴったり、ギリギリの状態です。

榎本委員長 これをもう少し増やしたいなというところですか。

団体 欠員が出ると結構厳しくて、毎回、私が出ますみたいになっているので。余裕があればいいなというのと、もし少し増えれば、週に 2 回にしたいなと。ただ遊ばせるだけですので、あんまり材料費とかも、最近はほとんど買わなくて済むなという感じなんです。子どもたちは材料とかなくても、何もなくても、勝手に遊ぶんですよ。子どもたち同士で。子どもが子どもと遊ぶ機会がないだけで、いるだけで楽しいみたいなので、もうそれだけで十分だなと思っています。ただ、大人がいないと、ちょっと怪我したとか、頭が痛いなどの時にちょっと不安なので。大体 1 回につき、5 名ずつボランティアが見守っています。

藤川委員 この間、事業視察に行かせてもらいまして、非常に子どもたちが楽しく、会長がおっしゃったように、もう一生懸命いろんなものを作っておられて、非常に立派な活動だと思いました。その時に、男性の人が 3 人ぐらい来ておられましたね。あの方たちはボランティアですか。

団体 ボランティアです。

- 藤川委員 ここに8名の方の名前が載っていますけれども、これはみんな女性ですか。
- 団体 これは、会員という形で、かずさっ子クラブを立ち上げた会員メンバーということで、ほとんど親御さんだけです。
- 藤川委員 3名ぐらいしか来ておられなかったんですけども、女性のボランティアもおられるんですね。
- 団体 ほとんど女性で、実はお母さんたちだったりします。他には、元学校の先生だったり、少年自然の家で働いている男性だったりします。
- 藤川委員 その方々を12、3名にして、週2回に持っていきたいということですか。
- 団体 13名だと足りないので、もう少し増やしたいです。まだ、補助金100万いってないんで、計算したら、週2回人件費だけ足しても、間に合いそうなので、大丈夫かなと思っています。
- 佐藤委員 私も視察に行かせていただいて、藤川委員がおっしゃるように、大変子どもたちも楽しそうに活動していて、とても素晴らしい活動だと思います。1つ質問なんですけれども、名前もかずさっ子クラブ、そして、ボランティア人数も少ないということなんですが、例えば他の地域から、この案内を見て、行きたいとか行ってみたいとか、親が送迎できるから行かせていただきたいという場合は、受け入れていただけるのでしょうか。
- 団体 幼稚園繋がり、木更津の子が来たいという話もあったんですけども、その当時、コロナも結構流行っていましたので、他の地域からの受け入れをやめておこうという方向ではあります。上総小学校だけに、今のところ限っています。上総小学校は、学童が小櫃まで行かないとないんですね。亀山の端っこの人達が、小櫃まで迎えに行くってなった場合、かなりの時間がかかるんです。他の小学校は近くに学童があると思うんですよ。公園とかに集まったり、市街地の子たちはあると思うんですね。子どもが集まる場所が、上総地区にはないので、それで作ったっていうのがあるので、そこはご遠慮させていただいているというところもあります。
- 新田委員 子どもの面倒をみるというのは、社会的なニーズも合い、非常に素晴らしい活動というふうに思いますが、先ほど平井さんの方から100万円という言葉が出たんですけども、基本的には、こういう活動というのは、地域に密着をして、そして継続していただきたいという、そういう思いもあって発足されたというふうに理解している

んですけども、仮にこういう補助金が、例えば、もう市の方も少し減額したいというような、そういう方針になった時に、この活動っていうのは継続できますか。

それと、団体の負担金というのが70円ですか。これも少しいかなものかなというところが、いわゆる自主運営という観点からすると、そういう見方ができるんですけども。その辺について、考え方をお聞かせいただきたいなと思います。

それともう1つ、講師の謝礼とボランティアの謝礼、これについての考え方をちょっとお聞かせいただけますか。見守りの金額が1人1,000円になっていて、半日の場合には3,000円掛ける4人。講師が1日2,000円、2日で7,000円もありますけど、これはどういった考え方に基づいて、こういうふうになってるか教えてください。

団体

まず、継続できるかという質問なんですけれども、1番初めの年から市役所の方では、こういう活動はもしかしたら生涯学習文化課の方の放課後子ども教室という、国の補助金を使った活動に移行してはどうかという打診がありました。私たちは、できればこちらの方が補助の体制がかなり手厚いので、もしこのままでいけるようであれば、親の負担が少ないので、このままいかせて欲しいというお願いをしました。もしこちらの方で、ちょっとこれ以上は、ということであれば、生涯学習文化課の方の補助金を使った形で、継続できるかなとは思っています。それから、団体負担金に関しては、前年度とかもほとんど出していないんですね。なので、この70円の数字はちょっとオーバーしているんで、数字合わせという形です。会員の私達は交通費だけしかもらっていません。ボランティアをするにあたって、お金を出してまでボランティアをするのかな、というのは疑問に感じています。もし本当に何にも補助金がない場合には、本当にみんなボランティアでやるしかないと思っていますけれども、こういう形で国やら市やらが、こういう子供の居場所って必要だよねと言っただけの以上、利用させていただこうかなと思っています。自腹を切っただけで、家族、個人として、負担するというのは、くるりプレイパークとか遊び場を作っているんですけども、一切、自分の自腹を切らないようにしていて、逆にそれを切っただけでやっていると、何か自分が何のためにやっているのかとか、惨めになってくるというか、自腹切らないでもできる体制を整えていければなというのは、私は活動していく上で、常に考えていることです。そうしないと、やってる本人続かないんですね。

それから、講師と謝礼金ですね。半日というのは、11時に学校が終わると、6時間あるんですね。1時間あたり、だいたい500円の支払いなので、6時間掛ける500円なので3,000円になります。講師代に関して、羊毛に関しては、何回もやっているの、かなりお母さんたちも補助できる状態なんですね。1日と書いてあるんですけども、1時間ぐらいでできるかなということとやる時間が少ないことと、ちょっと技術的な部分で、あまり沢山の技術をいただくというわけでもなく、この程度の金額でやってもらえるというふうに、私は判断したのでこの金額になっています。竹細工に関しては、前年度も竹細工をやってもらったんですけど、竹を切ってくれて、持ってきてくれて、実際こうやるんだよという技術的指導があまりなかったものですから、材料を持ってきてくれるということと、聞けば教えてくれるということで、本来、1日7,000円ぐらい払うべきところを、少し安くさせていただいているのが現状です。

鈴木節子委員

私も昨年、視察に行かせていただいて、大変良い活動だなというふうに思いました。特にいいなと思ったのは外遊び。山の方にロープみたいなのを吊るして、そこで子どもたちがターザンのように遊んでいる。それをボランティアの方が作られたというのを聞きまして、そういう方がいてくれて、子どもたちにも大変いいなというふうに思いました。週1回というふうに聞いて、もう少しあったら、子どもたちももっと楽しめるんじゃないかなと思いました。週1回木曜日という雨も降ることもありますし、子どもに外遊びさせたいなということを考えると、週2回の方がいいんだろうなと思いました。先ほど、新田さんの方からご質問もありましたけれども、補助金の範囲内ということになると、この予算書見るとやっぱり報償費と旅費がかなりの金額になっているんですよ。これを2回にしたら、このままだと無理かなと思います。他のボランティア活動なんかは、報償費はもらうけど旅費はボランティアとか、報償費はないけど旅費はいただくとかっていうふうになっているところが多いんですね。ですので、ちょっと旅費とかをもう少し見直されたらいかがかなというふうに思います。例えば、次にあるSCPなんかは、旅費は出してないんですよ。ただ、それは中で協議してやっていただくということで、2回にさせていただきたいなっていうのと、経費の面を少し考え直されて、2回実施できるように上手く考えていただければかなと思います。旅費についてですけど、47回の方とか、12回の方がいるんですけど、これは昨年実績で予算化したのか、ちょっと

その辺りがよくわからないんですけど、教えていただければと思います。

団体

この見守りの回数ですけれども、毎日出てる人が何人くらいいて、半分くらい出てる人が何人くらいいてというのを、前年で見出しているという形ですが、結構やっぱり、大雑把に出しちゃっているところがあります。予想がつかないというか、お約束できない部分がありますので、だから少しこの予算は大雑把です。

鈴木節子委員

ぜひ週2回できるように、やっていただけるといいなと思います。

団体

回数なんですけど、どうしても曖昧になってしまう理由が、ボランティアに来てる方はお母さんが大半なんです。そうしますと、この状況なので、感染症だったり風邪をひいたとか、兄弟もいますので、下の子だったり、家族全員だったりとか、なので予定していても、私も今月は家族が体調を崩しましたので、ほぼ代わってもらっています。そういうような状況がありますので、どうしてもこういうような計算になってしまいます。

事業番号 5

事業名 SCP（清和コミュニティパーク）創造プロジェクト

団体名 SCP創り隊

プレゼンテーション

事業番号5番、事業名「SCP（清和コミュニティパーク）創造プロジェクト」のプレゼンテーションを開始いたします。

発表時間は5分、質疑応答が10分となります。

団体名および発表者の紹介をしてから、事業の説明をお願いします。

— 資料にて説明 —

質疑応答

榎本委員長

ありがとうございました。

それでは質疑に入りたいと思います。

週1回というのは、何曜日なんですか。

団体

見守りさんたちの翌週の都合にもよったりするので、何曜日というのは決まっていないんですけども、それをラインの方で、いつでも親御さんたちとも、見守りさんとも共有できるので、そこは予定している日が事前にわからなくても、何とか今、運営できているという状況にいます。

- 伯ケ部委員 聞き逃したかもしれませんが、大体何人ぐらいの子供たちが放課後、残っているんですか。
- 団体 先ほど、51 人生徒がいるっていう話をしたんですけども、世帯数で言うと、30 切るぐらいなんですけど、そのうち 16 世帯が登録してくれていて、その兄弟関係含めて、トータルだと 25 人から 30 人います。曜日によっても違いますが、15 人から 20 人ぐらいが参加してくれている感じです。
- 伯ケ部委員 上総地区のかずさっ子クラブの紹介があったんですけども、そこは外で遊べる環境づくりがされてるようなんですけども、今後、皆さんの方では、その体育館だけに絞らないで、もっと外で自由に遊べるような環境づくりはいかがなものでしょうか。
- 団体 体育館の中だけではなくて、校庭も自由に使っていていいふうになっています。それなので、さっき 3 人見守りと言ったんですけど、どうしても外で遊びたい子たちに 1 人、中で体育館を使いたい子達に 1 人。もう 1 人自由に行き来できる人みたいな形で、3 人で見守りをされていて、自由に外では遊べます。ただ、ちょっと残念なのは、かずさっ子さんのところみたいに、後ろに山があるとかっていう環境ではないので、ボランティアさんに遊具を作ってもらおうとか、そういうのは少し難しいんですけど、今後、秋元小学校の方に移ると、また学校とは違った利用の仕方ができるようになってくると思うので、その辺はまたちょっといろいろできるようになるかなっていう気はしています。
- 新田委員 見守りの方について、ちょっとご質問をさせていただきたいんですけど。まず、登録者がどのぐらいいらっしゃるのか。お子様が登録されているから、登録をしているのか、その辺のところを聞かせてください。
- 団体 今、登録してくれてる見守りの方が 9 名います。その中で、お母さん、いわゆる自分の子どももいるからということで、登録してくれている方が 3 名。あと 6 名の方というのは、地域のリタイアした方や元先生だった方が 6 名登録してくれています。どうしても親御さんたちだと、6 時まで見るっていうと、下校時刻から 6 時ってちょうどご飯作ったりという時間帯なので、実はなかなか集まりも悪かったりするんで、もちろんそこに預けるのは、働きたいから預けるっていう方も多いので、うちの場合は、親のボランティアっていうよりも、年配の方でその時間帯動ける方っていう方が割と参加してくれている感じです。ただ今後、4 月以降もっと回数を増やそうと

すると、やっぱり見守りをもっと多くしないと、日数が増やせない
ので、やり方としては、毎日できるぐらいまで予算とかはつけられ
ているんですけども、あとは人がいないと実際に見守れないの
で、そこを力入れて、4月までに増やさなきゃと考えているところ
です。

新田委員 昨年の評価でもいいんですけども、親御さん達の評価っていうのはどうなっていますか。

団体 非常に有難いというのと、元々手書きのチラシをたまに出していて、そこで参加者とか募集したりはするんですけど、正直、そのチラシを見て入りたいという人は、半分くらいだったんです。ただ、放課後遊んでいる子どもたちが、やっぱり家に直接帰るより、お友達が遊んでいるのを見ていて、私も入りたいというのが、親御さんに伝わって入ってくれるみたいな形で、すごくそういう口コミで増えているみたいな形もあって、割と好評なのかなと思っています。親御さんたちも、特に用事がなければスクールバスは行ってしまうんで、迎えに来なきゃいけないという手間は出ちゃうんですけど、それを考えても、子どもたちに宿題やらせて、そのあと、6時まで子どもたちを見てくれるのは有り難いですというふうに言ってくれる方が多いかなと思います。

新田委員 この時期ちょっと6時までとなると結構暗いんですけど、送りはどうするんですか。

団体 各親御さんに小学校に迎えに来てもらいます。体育館は明るいので大丈夫ですし、特に、暗いから危ないってこともないかなと思います。

榎本委員長 かずさっ子クラブとは交流はないんですか。

団体 平井さんとは面識があります。全く一緒ではないんですけども、お互い同じようなことやるっていうところもあるので、かずさっ子クラブさんのLINEにも入れさしてもらっています。私のところはどっちかっていうと、学童に近いというか、ただ遊ばせておくというところで、積極的な教室というのは、まだ中々出来ないでいるんですが、平井さんたちのところは、かなり色んなことをやってらっしゃるんで、そこは勉強させてもらっている感じです。直接、交流会みたいなことはやったことはないです。市の方もいらっしゃるので、秋元小に移るときに、もうご存知かとは思いますが、移動手段がないんです。今のところ。スクールバスが自宅と学校を結ぶものなので、今度、新しい清和公民館になるところへの送迎は難し

いかかもしれないと言われていました。ただ、そこに送迎してもらえないと、今、企画しているものってなかなか難しいですし、各親が送るとなったら、学童的に使うという根本がずれてしまうので、ぜひ市の方としても、私たちも考えていくんですけども、何か案をぜひ、相談させていただければと思います。よろしくお願ひいたします。

事業番号 6

事業名 福祉のまちづくりを推進するプロジェクト

団体名 プロジェクトK

プレゼンテーション

事業番号6番、事業名「福祉のまちづくりを推進するプロジェクト」のプレゼンテーションを開始いたします。

発表時間は5分、質疑応答が10分となります。

団体名および発表者の紹介をしてから、事業の説明をお願いします。

— パワーポイントにて説明 —

質疑応答

- 榎本委員長 ありがとうございます。
 それでは質疑に入りたいと思います。
 人数は今のぐらいでやられているんですか。
- 団体 昨年まで5名だったんですが、今年は7名でやっています。登録は10人なんですが、支援者という形で3名の方がいて、活動を行っています。
- 永井委員 事業の周知方法の中に、君津市の広報や社会福祉協議会ホームページに掲載すると書いてあったんですが、掲載されているんですか。
- 団体 市のホームページや社協のホームページに入れば、プロジェクトKのホームページに飛べるようになっています。
- 新田委員 対象の方については、どういった選定の仕方をするんですか。
- 団体 私自身が34年間、障がい者の方の介助のボランティアをやってきて、その中で優れた人をまず紹介していて、先ほどの佐藤幸子さんは、手は全然使えないんですけども、足を使って刺繍をしたり、絵を描いたりすることができます。また、目が不自由な方が頑張っていて、短期間の間に習得されて、料理や洗濯をしている様子を紹介していて、今後一生懸命頑張っている方を応援するために動画を撮れるようにしたいです。今、4人ぐらいリストを挙げていて、動画を撮っていつて

いるところですよ。

鈴木節子委員

8月に福祉体験会を行うということですが、ちょっと聞き漏らしたかもしれないんですが、昨年度実績で結構なんですが、参加者が何人ぐらいだったかというのと、それから、そのうち大人と子どもの内訳、それから福祉体験会の案内はどのようにしているのか、教えていただければと思います。

団体

昨年で言いますと、中学生を対象にしまして、近隣の君津中学校、周西中学校、周西南中学校、八重原中学校、この4校をターゲットにして、各学校にポスターとビラを配り、募集しました。7名の児童が応募してくれましたので、7名で行いました。今年も同じような形で、中学生・高校生を対象にしていくというのは、若い世代にこういったことに、興味を持って欲しいというのがあったんで、中学生・高校生をターゲットに募集をかけます。

鈴木節子委員

7名というのは車椅子の数が少なかったりするんで、そんなに沢山応募がかけられないってことでしょうか。

団体

20名で募集したんですけども、来たのが結果的に7名だったという形です。ただ、6台の車椅子を交互で使ってもらおうと思っていたのですが、人数が少なかったんで、市役所からもう1台借りて7台で、1人1台でやってもらったんですね。そうすると、ひとりで横断歩道を渡ってもらったり、アピタの中を移動したり、自操で全部やってもらったので、大変だったという意見が出てきました。効果的には、逆にそういった大変な思いをして、体験していただいたんで良かったかなと思います。我々の人数も6人しかいないので、手がかかってしまうので、丁度良かったかなと思っています。

鈴木節子委員

今、福祉教育というのが進んでおりまして、車椅子とかアイマスクとかそういうような体験や、障がいのある方のお話とか、そういうのをやっていると思います。中学生を対象にということですが、ぜひ大人にも広めていただけるといいなというふうに思っています。例えば、公民館にビラを配布とか、何かもう少し幅広く募集かけたらいいのかなと思っています。

団体

小学校も福祉体験に回っているんですけど、中学生になると忘れていて、この前、参加した方にも聞いたんですけども、忘れましていう方が結構いて、小学校だとただ遊び的な感覚でやったりとかしているんで、中学生になれば考えながら体験をやっていただけるので、ちょっと年齢が上がっていく方がいいかなと思います。これから広げていきたいと思っています。

- 藤川委員 君津市全体で障がいのある人は何人ぐらいで、どういう年齢層であるのか、教えてください。
- 団体 人数的にはわからないんですけども、ただ、色んな障がいがあって、全部含めると、かなりの人数になっているんですね。
- 藤川委員 市では、把握しておられないですか。
- 事務局 記憶の中で説明させていただきますと、障害者手帳というものがありまして、身体とか精神とかの手帳がありますけど、その手帳の保持者が確か、4千人ぐらいだったと思うんですけど、その他にも、手帳の貰えないような方々もおりますので、かなりの人数になるとは記憶しております。以上になります。

事業番号 7

事業名 猫と人間とが共存できる環境づくり

団体名 猫レンジャー

プレゼンテーション

事業番号7番、事業名「猫と人間とが共存できる環境づくり」のプレゼンテーションを開始いたします。

発表時間は5分、質疑応答が10分となります。

団体名および発表者の紹介をしてから、事業の説明をお願いします。

— 資料にて説明 —

質疑応答

- 榎本委員長 ありがとうございます。
それでは質疑に入りたいと思います。
保護というのは、どのような形で保護するんですか。
- 団体 私たちが保護する基準というのは、里親を探せるかどうかというところで、子猫やけがをして動けない猫を保護しています。生粋の野良猫というか、人に近寄ってこない猫たちは保護しても、その子達を里親に出すまで相当な時間がかかるので、その猫たちまではちょっと保護できませんので、その猫たちは手術をして、元に戻して、寿命を全うしてもらおうということをしています。
- 鈴木富雄委員 不妊手術ですか。うちも野良猫を2匹飼っていて、結構、医療費とか食費がかかるんですけど、不妊手術の費用はこの予算でやられるんですか。
- 団体 手術の費用は、基本的には依頼者さんに負担していただいています。一般の獣医さんでは高額なので、野良猫専門で手術してくれ

る、ボランティア価格というか、安くやったださる先生がおりまして、その先生のところに連れて行って手術をしてもらっています。

鈴木富雄委員 基本的にその猫を見てくれという人が不妊手術の費用を出すわけですか。

団体 そうですね。いわゆる餌やりさんです。初めは自分の猫じゃないから、何でお金出さないといけないのという方がほとんどなんですけど、よくお話していたら理解していただいて、その額だったら負担できますということで、ご負担いただいています。

鈴木富雄委員 そういう人がおられればいいと思いますけど、今は、なかなか難しいのかなと思いますけども。

団体 ご飯をあげること自体、猫に対して愛情がある方だと思っていますので、丁寧にお話すれば気持ちが通じて、それだったら負担しようかなということで、ほとんどの方はここでお断りになることはないです。

榎本委員長 手術代はいくらですか。

団体 こちらの先生は、オスもメスも税込で5,500円です。

榎本委員長 さっき、寄ってこない猫の話があったけど、噛まれたりなんかすることはないですか。

団体 捕獲機というのを使いますので、ほとんど怪我することはないですけど、捕獲機から別の入れ物に移すときに、猫も必死ですから、100%怪我が無いといえば嘘になりますので、あることもあります。

佐藤委員 私も保護猫を5匹飼っていて、避妊それから去勢もしまして、大変やっぱりお金がかかります。餌代もね。それをこのような形で譲渡とかそういうことをやっていただいて、私も動物大好きなので、とてもありがたく思っています。1つ質問なんですけど、先ほどいただいた猫レンジャーの活動報告のTNRというのがちょっとわからなくて、これは何ですか。

団体 TNRというのは、捕獲・手術・リリースの英語の頭文字を取ったもので、TNRと言います。英語で言うと、トラップ・ニューター・リターンです。

佐藤委員 それが400っていう件数ですか。

団体 今年度はちょっと多かったですね。君津市だけではなくて、袖ヶ浦から鴨川までお話をいただいています。

鈴木節子委員 TNRを実際に依頼されて、病院に連れて行って、最後リリースするというのは、ボランティアの方がやってらっしゃるんですか。

- 団体 ボランティアさんはいらるんですけど、実質スタッフ3人で動いて
いまして、みんな仕事をしながらやっておりますので、依頼者さん
の協力なしでは捕獲ができないんです。というのは、餌をあげてな
いところで捕獲ができないので、日々の餌やりは依頼者さんの方で
お願いしています。
- 鈴木節子委員 依頼者さんと協力して、猫レンジャーの方が捕獲する。リリース
はどういうふうにするんですか。依頼者さんのところにリリースす
るんですか。
- 団体 捕獲した場所にします。日帰りの手術でして、麻酔を覚めさせる
注射をしていただいて、その日に帰れるような状態に先生がしてく
ださるので、その日に帰します。やっぱり1泊預かると、それもま
た負担になりましてなかなか進みませんので、当日帰すというのを
基本でやっております。
- 鈴木節子委員 不定期に依頼が来るので、すごく大変だなというふうに思いま
した。ご苦労さまです。
- 榎本委員長 コロナ前とコロナになってからは、どのくらいの数が違うんです
か。
- 団体 基本的に変わらないような気がします。今日も譲渡会を抜けてき
たんですが、譲渡会もいらっしゃる方の数はあまり変わらないと思
います。ただ始めた年よりも、さっきここでお話させていただいた
ように、飼えなくなって保護して欲しいっていう連絡が年々増えて
いるので、それが心配です。
- 藤川委員 最近ニュースで聞いたんですけど、ペット関係の看護師の国家試
験が今度あるそうですけど、そういう看護師が増えた場合、皆さん
の活動はどう変わっていくのか、お話ししていただけますか。
- 団体 今、現在は保護した猫は、病院に連れていきまして、猫がかかり
やすい病気があるんですけども、猫エイズと白血病ですね。1番感染
が怖い病気の検査をしたり、ワクチンを打ったり、ノミダニ駆除と
検便してお腹の中の虫を駆除することまではやっているんですけど
も、それ以上になると医療費がかさみまして、そこまではちょっと
私たち団体もなかなかできないんです。怪我している猫はもちろ
ん治療しておりますが、その看護師のそういう資格を取った方が
いただけると、早めに猫の健康状態に気づいていただいて、早
めに処置ができるので、そういう制度ができれば、私たちも取り
入れていきたいなと思います。

議題3 「令和5年度1次募集申請事業の採択協議について」(非公開)

閉会(午前11時30分)